◎令和8年度業務委託　料金徴収員基本配置人員算定基準

【算出式】

①ブース内総労働必要時間の算出

基本レーン［基本人員×営業時間×営業日数］＋繁忙時レーン開放時間……Ａ

②営業開始・終了に伴う必要労働時間の算出

［基本人員×（営業開始必要時間＋営業終了必要時間）×営業日数］……Ｂ

③総労働必要時間の算出

Ａ＋Ｂ＝Ｃ

④総必要人工数の算出日数

Ｃ÷1人当たり勤務時間／日……Ｄ

⑤必要人員数の算出

Ｄ÷1人当たり年間勤務日数

【算出内訳】

①基本人員　　２名（各方向別の車両から徴収が可能な最低基本人員）
ただし箱根スカイラインは、平日の平均通行台数が230台/日以下の月の平日に限り、１名（両方向の車両から徴収）
また、伊豆スカイライン冷川料金所も１名（進入車両の徴収等対応、退出車両には対応なし）

②繁忙時レーン開放時間の算出

（1）令和7年9月1日～令和8年8月31日間の時間別方向別台数から曜日別（平日・土曜・日祝日別）の時間別方向別台数を算出する。
ただし伊豆SLは料金所再編のため、令和7年10月1日～令和8年8月31日の台数とする。

（2）上記（1）の時間別方向別台数を各曜日別日数で除すことで、平均時間別方向別台数を算出する。

（3）上記（2）の平均時間別方向別台数にて、繁忙時における予備レーンの開放を必要とする時間数を求める。
この基準となる台数は日本道路公団設計要領「車線数、サービス時間及び平均待台数と処理可能台数」におけるピーク時台数を使用する。

道路別	伊豆中央道 修善寺道路	伊豆スカイライン（旧）		伊豆スカイライン(現行)		浜名湖新橋 箱根スカイライン	備考
		進入	退出	熱海峠料金所 亀石峠料金所 天城高原料金所	冷川料金所		
サービス・タイム	8秒	18秒	10秒	8秒	18秒	8秒	伊豆中央道・修善寺道路はＥＴＣ専用レーンがあるため、交通量の分散減少を考慮し、平均待台数を3台とした。
1レーン当たり ピーク時台数	340台*2	100台*1	270台*2	230台*1	100台*1	340台*2	

注）*1については平均待台数が1台の場合の台数を使用した。

注）*2については平均待台数が3台の場合の台数を使用した。

（4）令和9～11年度を曜日別に分類し、この日数に上記（3）で求めた時間数を乗じることで、繁忙時レーン開放時間を算出する。

③1人当たりブース勤務時間

（1）料金徴収員は、1勤務8時間45分の拘束時間のうち、45分の休憩時間を除いた8時間ブースにて徴収を行うものとして算定。

④営業開始及び終了時の必要時間

営業開始時及び終了時には、その準備（つり銭の準備・運搬、収受機・通行券のセット等）に各15分、計30分必要であるものとして算定。
（ただし、東芝テック製のPOS型収受機を使用している料金所は、営業終了時のデータ送信に追加で必要となる15分を加算する。）

⑤年間勤務日数

年度	年間日数	年間休日日数			年　間 勤務日数
		公休日	年休等	計	
9年度	366	108	10	118	248
10年度	365	109	10	119	246
11年度	365	109	10	119	246

公休日	9年度	10年度	11年度
	108日	109日	109日
土曜日	52日	53日	52日
日曜日	52日	52日	53日
12/29～ 1/3の平日	4日	4日	4日